

二次試験（指定論文）について

■二次試験（指定論文）審査の内容と目的

下記の論文テーマ（主題）の中から 1 つを選び、医業経営コンサルタントを目指すものの立場から副題のテーマをつけ、その副題について論述する。

提出された論文について、特に以下の点に着目し、医業経営コンサルタントとしての見識と実務的能力があるかどうかを審査する。

○留意点

- （ア）多方面かつ多面的に検討されている
- （イ）他者の論述との比較評価が示されている
- （ウ）他者の論述にない自らの主張がある
- （エ）考察が記述され、再現性に配慮されている

■論文テーマ（主題）

1. 医療・介護制度の課題と展望（医療提供制度、医療保険制度、介護保険制度、制度の国際比較など）
2. 経営診断の業務（外部環境調査分析、内部環境調査分析、経営改善提案など）
3. 経営戦略の策定（機能分担と連携、選択と集中、病院再編、法人統合、病棟編成など）
4. 経営管理への支援（サービスの質の管理、安全管理体制、利用者満足、医療情報の利活用、業務委託など）
5. 医療・介護・福祉の施設・サービスの地域の計画（人口・道路網・交通機関の分析と計画、周辺状況から見た事業展開、広域BCPなど）
6. 医療・介護・福祉施設の建築・設備計画（新設・建替え・改修・保守等の課題、建設費、医療・介護制度との関連、施設BCPなど）
7. 医療・介護経営における会計・税務の課題（消費税、認定医療法人、病院会計準則、医療法人の出資持分、事業承継など）
8. 地域包括ケアシステムの構築に向けた課題（地域ケアサービスの資源、医療・介護・福祉の連携、在宅療養支援など）
9. 医療法改正（地域医療連携推進法人制度、医療法人制度の見直し、外来機能報告、かかりつけ医機能報告制度など）
10. 医療の国際化への取り組み（医療ツーリズム、海外展開、国際標準化、人材のボーダーレス化など）
11. 2040 年問題への課題（医業経営コンサルタントとしての対応、社会保障制度の維持、労働力不足など）
12. 医療における集中と分散（医療機能、中央化、再分散化、リスクマネジメントなど）
13. 地域医療構想の課題（見直しの論点、地域医療構想と病院経営、地域医療の質、新地域医療構想など）
14. 医療および介護従事者の人材確保・働き方改革（タスクシフト、介護施設の協働化・大規模化、外国人雇用など）
15. 情報技術の進歩と課題（医療・介護への活用、医療・介護DX、生成AI、サイバーテロ対策など）

■評価基準

1. **問題意識**：主題（テーマ）・副題を選択した理由が問題点の提示とともに明らかにされているか。
2. **多方面・多面的理解**：主題（テーマ）・副題に対し、他の制度、基準・方法等と比較する等、幅広い立場で医業の特殊性について理解が示されているか。
3. **筆者の見解**：論題（テーマ）・副題に対し、筆者の見解（批評・主張等）を示し、医業経営コンサルタントとしての高い見識が貫かれているか。
4. **実用性**：論旨が、医業経営の現場に適用またはその実用性に触れているか。
5. **整合性**：文書構成上、「はじめに」、「中心となる内容」および「結論・結び」の論旨が一貫して整合しているか。
6. **文献**：他者の見解や既往データなどを適切に参考・引用しており、それらを参考文献および引用文献として正しく記載されているか。
7. **明瞭性**：論文は明瞭にわかりやすく、誤字なく記載されているか。

* 参考：「総合C」（不合格）評価になる典型例

- ① 副題の設定が大き過ぎたり、漠然としているもの
- ② 医業経営コンサルタントとしての実務性が示されていないもの
- ③ 他との比較評価がない一事例のみのもの
- ④ 教科書丸写し型
- ⑤ 自己見解ナシ型（マスコミ等の一般的な論調）
- ⑥ 極端に偏った自己主張型
- ⑦ 様式の逸脱型（文字数・枚数の不足および超過等も含む）
- ⑧ 引用が数多く（例えば 20 以上）あり、筆者の見解ナシ型

というようなものがある。

■提出期限：令和 9 年 1 月 8 日（金）必着

（論文とは別に定める提出書類の郵送期限も同様です）

※提出された論文は返却いたしません。

■受験資格

令和 3 年 1 月に一次試験合格者の二次試験を受験できる有効期限が撤廃されました。これにより、平成 30 年度（第 28 回）以降の一次試験に合格された方（第 6 期以降の医業経営実務講座全講座修了された方を含む）は、有効期限なく二次試験を受験いただけます。

「指定論文」の書き方

1. 論文の副題

論文の副題は、15の論文テーマ（主題）の中から一つを選び、そのテーマの中で自分が関心を持っている側面を取り上げることとする。できるだけ、副題名を読んだだけで筆者の問題意識が分かるようなもの、読者の関心をそそるようなものが良い副題である。

主題と副題が全く異なる場合、医業経営コンサルタントとしての適格性に問題があるとみなされ、総合「C」（不合格）になる可能性が高い。

2. 論文の構成

論文の構成は、内容によっても異なるが、基本的には、(1)表紙、(2)目次、(3)本文-はじめに、(4)本文-本文、(5)本文-結論またはまとめ、(6)引用・文献リスト、(7)図表、からなる。

(1) 表紙

論文テーマ(主題)、副題、氏名

(2) 目次

(3) 本文-はじめに

「はじめに」は論文の前提・背景となる事柄を記載する。また、設定した課題がどこまで明らかになっているのか、何が問題として残されているのか、したがって本論文では何を明らかにしようとするのかという「目的」と、どのような範囲を議論しようとするのかなどの「問題意識」を明確にするのが、「はじめに」の役割である。

(4) 本文-本文

「本文」は、できるだけ小見出し・小番号をつけるなどして、読みやすくする。そのつけ方は内容によるが、以下のような事項を参考にされたい。

※ 実証的な論文の場合には、「方法」、「データ」、「結果」、「考察」などと分かれる。

文献レビュー論文は、「データベース」、「キーワード」、「検索件数」、などを記すことが重要である。

※ 自ら携わったコンサルテーション事例を基に書く場合には、施設の概要、コンサルテーション前の状況、後の改善の成果（結果）をも記す必要がある。

(5) 本文-結論またはまとめ

「結論」は必ず書く。結論といえるほど明確に表現できない場合は、「まとめ」として重要な知見（筆者の見解）をまとめて書く。

(6) 文献リスト

「文献リスト」とは論文作成に際し、引用ならびに参考とした書物等を引用ならびに参考文献として示す。この記載がない場合、筆者がそのテーマの重要領域を示した書物等を読んでいないことを自ら示すものであり、好ましくない。

「文献」は、どのような書物等を読み、勉強した（参考文献）か、その中（それ以外のものを含む）の、何ページのどの部分を引用したかを本文中に¹⁾などの符号を付

して示す（引用文献）ものであり、筆者の日常の勉強の深度を示すとともに医業経営コンサルタントの業務書類の作成の仕方につながるものである。文献全てがインターネットからの情報では自己の勉強の浅さを示しており、適切な論文とは言えない。

(7) 図表

「図表」は本文の適切な位置に適宜配置する。図および表については、それぞれに連番号を付記する。図表 1、図表 2 とはしないで、図 1、表 1 とする。図表の書き方（描き方）についての基本的なルールは、図表番号・タイトルをそれぞれに付け、グラフの場合は縦軸名・横軸名、単位などを明記する。出典を明記、また改変した場合はその旨を記載する。なお、本文が図表の解説だけに終わらないようにする。

3. 論文執筆に関する諸注意

3-1. 執筆にあたっての留意点

医業経営コンサルタントとして実用的な内容であることが重要である。

論文はテーマに対する筆者の見解を示さなければならない。そのためには既往の見解や見方も示し、医業経営コンサルタントを目指すものとしての判断や見解を示す必要がある。

また、他者の見解や意見、あるいは既往データなどを引用する場合は、どこからの引用であるかを示す必要がある。これらの引用元を示さなければ、自身の知見と読み取られ、結果的に盗用となる。

引用・参考文献の記載が誤っていれば、引用者の誤りとして責任を負わなければならない。なお、言うまでもないことだが、一つの著者や論文の複製（部分複製も含む）は盗作であり、論文とはみなさない。

3-2. 不正行為への対応

剽窃・盗用等の不正行為への防止対策を徹底するため、令和 7 年度より剽窃チェックツールを導入している。

以下の行為は不正行為であり、審査対象外とする。

- ①他者の著作を引用の程度を越えて複製すること
- ②既往論文等をあたかも自分が書いたかのように見せかけること
- ③生成 A I を援用して書くこと。

不正行為への対応について（「指定講座・試験規程」 令和 7 年 4 月 1 日 改定）

一次試験の試験中及び試験終了後の調査、又は二次試験の論文審査において、不正行為が確認された場合には、当該不正行為に関係のある者について、その受験を停止させ、又はその試験を無効とすることができる。該当する場合は、事後 2 年間受験を許さない。

3-3. 文献リストの書き方

引用ならびに参考文献は、本文の該当箇所に「上付き」番号^(1, 2)などをつけ、最後に一括して記載する。

【例】

…………である¹⁾。

…………である^{1-3, 5)}。

記載方法は次の例に従う。

- a. 雑誌の場合は、著者名（著者が3名以上の場合は、最初の3名のみとし、4人目以降については、“他”または“et al.”と記す）、表題、雑誌名、巻数（号数）、頁一頁、発行年の順に記す。この際、頁には文献の最初の頁と最後の頁を記載する。

【例】

南須原康行、医療事故発生から院内事故調査委員会設置までの具体的対応、日本病院会雑誌、62（10）、48-67、2015

- b. 単行本の場合は、著者名、表題、発行所（発行地）、頁一頁、発行年の順に記す。内容を全般的に参考にする場合は、頁は記載しなくてもよい。

【例】

松田 晋哉、地域医療構想をどう策定するか、医学書院、23-56、2015

Peter F. Drucker, Management: Tasks, Responsibilities, Practices, Harper Business; Reprint 版, 521-560, 1993

Peter F. Drucker, Management Revised Edition, Harper Business; Revised 版 2008 (上田惇生訳、経営の真髄・上巻 (知識社会のマネジメント)、ダイヤモンド社、81-130、2012)

- c. インターネットの場合は、タイトル、URL、アクセスした日付の順に記す

【例】

厚生労働省、第12回地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会、都道府県の地域医療構想の策定の進捗状況

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000105232.pdf> (2025年1月6日アクセス)

3-4. その他の注意

- (1) 文体は「である調」で書く。「ですます」調の文体を混在させない。
- (2) 誤字脱字や入力ミスがないか、提出前に必ず読み返してみる。
- (3) 引用かオリジナルな見解か、はっきり区別する。
- (4) 見解にはそれを裏付けるデータや根拠が必要である。
- (5) 記載内容（事実）に誤りがない。（文献の誤りあるいは読み違いを含む）

4. 様式

提出論文の様式は以下のように定める。

- ・ A4 縦判サイズに 35 文字 30 行の横書きで設定する。
- ・ 余白は、上 35 mm、下 30 mm、左右 30 mm に設定する。
- ・ 文字の大きさは、11 ポイント、書体は MS 明朝体とする。
- ・ 本文（はじめに・本文・結論またはまとめ）の総文字数は 8,400 字以上 10,000 字以

内とする（総文字数には、表紙、目次、図表、図表中の文字および引用・参考文献の文字数を含まない）。

- ・本文のページ数は、図表・写真を本文中に挿入する場合も含め、9～12 ページ程度にまとめるものとする（本文9～12 ページ程度には、表紙、目次、引用・参考文献を含まない）。
- ・表紙を作成し、主題・副題・氏名を記載する（氏名欄に勤務先等の記載は不要です）。
- ・目次を作成し、ページ数をつける。
- ・原則P Cを用いて word で作成する。提出データは PDF 形式に変換する。PDF ファイル名は、自身の受付 No の後に氏名を付記したものとする。

（例：受付 No. 12345 医業太郎のファイル名⇒12345 医業太郎. pdf）

※受付 No は、一次試験結果通知書において、お名前の後ろにカッコ書き（5 桁）で記載されている番号です。医業経営実務講座全講座修了の方、および受付 No がご不明な方は、協会事務局へお問い合わせください。

作成した論文（PDF データ）の提出（アップロード）は、当協会ホームページの専用フォームより行っていただきます。後述の「5. 論文の提出方法」をご参照ください。

※上記の様式に合致しないときは不採択となることもありますので、留意してください。

（参考）表紙

主 題 1	我が国の医療制度の 課題と展望
副 題	○○○○○○○○○○○○
氏 名	医 業 太 郎

（参考）目次（例）

《目 次》	(ページ)
1. はじめに	1
2. 本 文	2
(1)	・
(2)	・
3. 結論またはまとめ	9
4. 参考・引用文献	
[参考文献]	11
[引用文献]	11

5. 論文の提出方法

当 協 会 ホ ー ム ペ ー ジ 「 二 次 試 験 （ 論 文 ） 」 ペ ー ジ (https://www.jahmc.or.jp/about_consultant/second_examinee/) にある「論文の提出はこちらから」ボタンから、論文の PDF ファイルのアップロードを行う。

※アップロード画面（イメージ）は次頁を参照ください。

※論文とは別に定める書類も提出が必要になります。提出書類の内容は、協会ホームページをご参照のうえ、事務局へ郵送してください。（令和9年1月8日(金)必着）

【アップロード画面（イメージ）】

医業経営コンサルタント
二次試験論文
提出フォーム

■ メールアドレス **必須**
shitei-koza@jahmc.or.jp

■ 氏名 **必須**
医業 太郎

■ 論文ファイル アップロード **必須**
PDFファイルをアップロードしてください。
ファイルの選択 12345医業太郎.pdf

ファイルサイズは100 MB以下。 [ファイルを削除する](#)

■ ファイル名（受付番号5桁＋氏名 例：12345医業太郎.pdf）は正しく設定されていますか。 **必須**
☒ はい

■ 指定された形式基準（文字数等含む）に沿って論文を作成しましたか。 **必須**
☒ はい

■ 論文とは別に、所定の提出書類を事務局へ郵送してください。（7月11日（金）必着） **必須**
☒ はい

※ 所定の提出書類（PDF）

【個人情報の取り扱いについて】
個人情報は、当協会個人情報保護方針に基づき利用し、安全かつ厳密に管理します。
詳細は当協会ホームページのプライバシーポリシー（<https://www.jahmc.or.jp/privacy/>）をご確認ください。
「個人情報の取り扱い」に同意する **必須**
☒ 同意する

入力内容を確認

医業経営コンサルタント
二次試験論文
提出フォーム

■ メールアドレス **必須**
shitei-koza@jahmc.or.jp

■ 氏名 **必須**
医業 太郎

■ 論文ファイル アップロード **必須**
12345医業太郎.pdf

■ ファイル名（受付番号5桁＋氏名 例：12345医業太郎.pdf）は正しく設定されていますか。 **必須**
はい

■ 指定された形式基準（文字数等含む）に沿って論文を作成しましたか。 **必須**
はい

■ 論文とは別に、所定の提出書類を事務局へ郵送してください。（7月11日（金）必着） **必須**
はい

「個人情報の取り扱い」に同意する **必須**
同意する

送信

戻る

※論文がアップロードされましたら、入力いただいたメールアドレス宛に「論文提出確認メール」をお送りいたします。（メールアドレスを誤って入力されますと、正しく届きません。）

<問合せ先>

〒102-0075 東京都千代田区三番町 9-15 ホスピタルプラザビル 5階
（公社）日本医業経営コンサルタント協会 総務部 総務課 田村・井上
TEL 03-5275-6996（代表）/03-5275-7701（直通） FAX 03-5275-6991

以上